

充電が出来ない／遅い

↓ ACアダプタによって充電時間が長くなる

ACアダプタによって充電時間が長くなる

急速充電用以外のACアダプタを使用した場合、充電速度が遅くなる場合があります。
ワイモバイル指定の急速充電用ACアダプタはウェブサイトを参照してください。

メールの送信／受信ができない

- ↓ 機内モードに設定されている
- ↓ 電波レベルアイコンに「4G」の表示がない
- ↓ ファイルを添付すると送信できない
- ↓ 特定の相手からのメールを受信できない

機内モードに設定されている

「機内モード」になっている可能性があります。

ステータスバーを2本指で下にドラッグ／フリック → **機内モード** で、機内モードを解除してください。

電波レベルアイコンに「4G」の表示がない

モバイルデータがオフになっている可能性があります。

ホーム画面を上からドラッグ／フリック → **設定** → **ネットワークとインターネット** → **モバイル ネットワーク** → **モバイルデータ** (表示) で設定をご確認ください。

ファイルを添付すると送信できない

+メッセージで添付できるファイルのサイズは最大100MBです。

サイズの大きいファイルの共有にはGoogleドライブなどをご利用ください。

特定の相手からのメールを受信できない

迷惑メールフィルターの設定により届かない可能性があります。

迷惑メールフィルターの設定を確認してください。

インターネットに接続できない

- ↓ 機内モードに設定されている
- ↓ 電波レベルアイコンに「4G」の表示がない
- ↓ ブラウザを利用すると接続できない
- ↓ Wi-Fi接続中だけインターネット接続できない

機内モードに設定されている

「機内モード」になっている可能性があります。

ステータスバーを2本指で下にドラッグ／フリック → **機内モード**で、機内モードを解除してください。

電波レベルアイコンに「4G」の表示がない

モバイルデータがオフになっている可能性があります。

ホーム画面を上からドラッグ／フリック → **設定** → **ネットワークとインターネット** → **モバイル ネットワーク** → **モバイルデータ** (表示) で設定をご確認ください。

ブラウザを利用すると接続できない

ブラウザが一時的に動作が不安定な状態になっている可能性があります。

ブラウザのキャッシュをクリアすることで改善する可能性があります。ホーム画面で@ (Chrome) → @ → **設定** → **プライバシー** → **閲覧履歴データの削除** → **期間の@をタップ** → **期間をタップ** → **削除する情報の種類を選択** → **データを削除**で、キャッシュをクリアしてください。

Wi-Fi接続中だけインターネット接続できない

Wi-Fi接続に問題がある可能性があります。ホーム画面を上からドラッグ／フリック → **設定** → **ネットワークとインターネット** → **Wi-Fi** → **Wi-Fiの使用** (表示) でWi-Fi設定をOFFにした状態でインターネットに接続できるか確認してください。

通話ができない

↓ 発着信ともできない

↓ 着信できない

発着信ともできない

「機内モード」になっている可能性があります。

ステータスバーを2本指で下にドラッグ／フリック → **機内モード**で、機内モードを解除してください。

着信できない

「着信転送サービス」や「留守番電話サービス」を設定している場合、着信を取る前に留守番電話に接続されたり、電話が転送されたりすることがあります。

「[着信転送サービスを利用する](#)」を参照し、設定をご確認ください。

保証とアフターサービス

↓ 保証について

↓ アフターサービスについて

↓ OS／セキュリティ機能のアップデートについて

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。

<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>

- 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。
- 本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのワイモバイルショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安としてXX年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。



ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのワイモバイルショップまたは[お問い合わせ](#)

[先までご連絡ください。](#)

OS／セキュリティ機能のアップデートについて

■ OSについて

OSのアップデートをすることで、最新のAndroidを利用することができます。

OSは発売から24ヶ月間で最低1回以上のアップデートを実施しています。

■ セキュリティ機能について

毎月、最新のセキュリティ機能が提供されます。

セキュリティ機能のアップデートは、発売から最低3年間の提供を実施しています。

仕様

↓ 本体

↓ 内蔵電池

本体

項目	説明
質量	約■■■g
連続通話時間 ¹	約●●●分(3G) 約●●●分(4G LTE) 約●●●分(GSM)
連続待受時間 ²	約●●●時間(3G) 約●●●時間(4G) 約●●●時間(4G LTE) 約●●●時間(GSM)
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	ACアダプタ(ZSDBAS) ³ :約●●●分 ACアダプタ(ZSCAZY) ⁴ :約●●●分
サイズ(W×H×D)	約■■×■■×■■mm(突起部を除く)
最大出力	4G(LTE:FDD-LTE網):●.●W 3G:●.●●W GSM(900MHz):●W GSM(1800MHz,1900MHz):●W

- 1 連続通話時間とは、充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 2 連続待受時間とは、充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信を無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。
- 3 USB PD対応 USB Type-C 急速充電ACアダプタ(SB-AC20-TCPD)
- 4 Y!mobile Selection USB Type-C 急速充電ACアダプタ(Y1-AC17-TCQC)

内蔵電池

項目	説明
電圧	●.●V

使用電池	リチウムイオン電池
容量	●,●●●mAh

本製品の比吸収率(SAR)について

本項目における■■■■とは、本機 EB1035 を示しています。

↓ 本製品の比吸収率(SAR)について

↓ 米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

本製品の比吸収率(SAR)について

この機種■■■■の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{※1}は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機■■■■の頭部におけるSARの最大値は●●●●W/kg^{※2}であり、また下記の方法^{※3}により身体に装着した場合のSARの最大値は●●●●W/kg^{※2}です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

頭部以外の位置におけるご使用方法^{※3}

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。

今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のウェブサイトをご参照ください。

総務省のウェブサイト

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のウェブサイト

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>


電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準を掲載しています。詳細は「[米国連邦通信委員会\(FCC\)の電波ばく露の影響に関する情報](#)」をご参照ください。

米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は●●●W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は●●●W/kgです。

身体装着の場合:この携帯電話機では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のウェブサイトを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety(英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のウェブサイトをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product

■ here refers to this mobile phone EB1055

↓ [Specific Absorption Rate \(SAR\) for This Product \(for Japan\)](#)

↓ [FCC RF Exposure Information](#)

↓ [FCC Notice](#)

↓ [FCC Compliance information](#)

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone ■ meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is ●●●● W/kg*** when tested for use at the ear, and ●●●● W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear****

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body

and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.



This mobile phone [REDACTED] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is ●●● W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is ●●● W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of (<http://www.fcc.gov/oet/ea/>) after searching on FCC ID ●●●●●●●●.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at (<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>).

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization
<http://www.who.int/emf>

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is

connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.




FCC Compliance information

The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).

The FCC ID of this product is ●●●●●●●●●●.

Or you can check as follows.

How to check:

Drag/flick Home Screen up →  (Settings) →  About phone →  Technical regulation conformity certification

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

↓ My Y!mobile

↓ チャットサポート

↓ 総合窓口(通話料有料)

↓ 各種お手続き(通話料無料)

My Y!mobile

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<http://ymobile.jp/s/BvhGB>



チャットサポート

“チャットでチャチャッと”相談！各種変更も可能です！

<http://ymobile.jp/s/EarSf>



総合窓口(通話料有料)

- ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 151
- 他社のスマートフォン・ケータイや固定電話から 0570-039-151
- [オペレーター対応時間]9:00~20:00(年中無休)

各種お手続き(通話料無料)

- ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 116
- 他社のスマートフォン・ケータイや固定電話から 0120-921-156
- [受付時間]自動音声応答により24時間受付(年中無休)